

HARF & QUARTER PARASHADE

パラシェード ハーフ® / パラシェードクォーター®

突っ張り棒1本で設置できる、日かげスペース広々の半円・1/4円型日よけオーニングです。

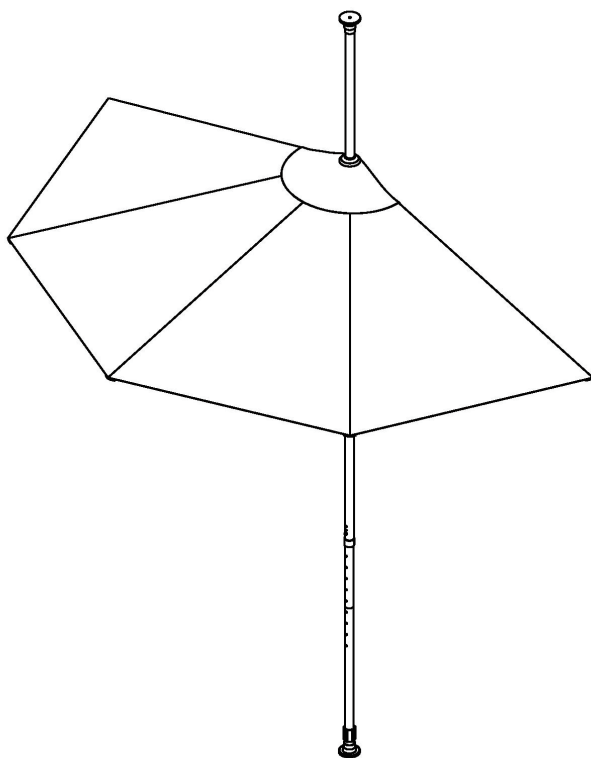
設置・取扱説明書

パラシェードハーフ® (半円型)

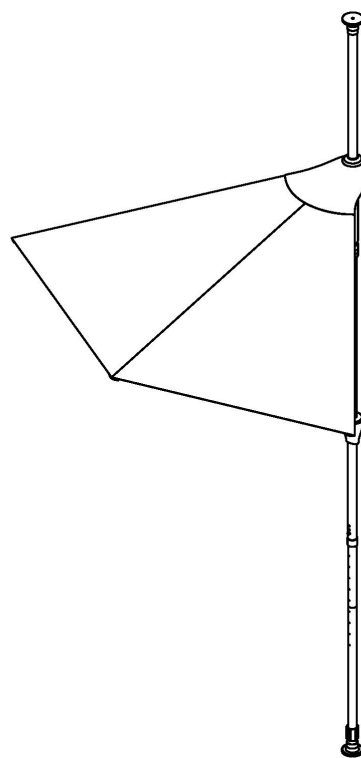
- (約) 幅 300cm × 出幅 150cm アイボリー色 PDHA2-IV
- (約) 幅 300cm × 出幅 150cm グレー色 PDHA2-GY

パラシェードクォーター® (1/4円型)

- (約) 幅 150cm × 出幅 150cm アイボリー色 PDQT2-IV
- (約) 幅 150cm × 出幅 150cm グレー色 PDQT2-GY



パラシェードハーフ®



パラシェードクォーター®

PAT.P 国際特許出願中





MADE IN CHINA

必ずお読みください。

「設置・取扱説明書」

このたびはパラシェード ハーフ・クォーターをお求め頂き、誠に有難うございます。
パラシェード ハーフ・クォーターは、突っ張り棒を利用して設置する半円・1/4 円型日よけオーニングです。
設置・お取扱いの際には必ずこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになって正しくお使いください。
またお読みになった後は大切に保管してください。

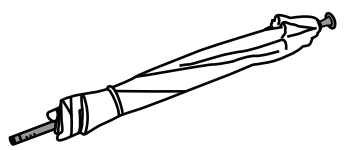


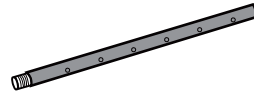
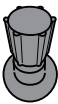
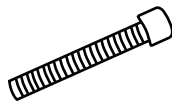



本書では、製品を安全にご利用頂くために次の絵表示を使用して、お守り頂く事項の内容を区分しております。

 警告	この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に重傷や死亡を負う可能性が想定されます。
 強制	この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為を指示する『強制』行為を示しております。
 禁止	この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為をしてはいけないという『禁止』行為を示しております。
 注意	この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に怪我を及ぼしたり本製品を破損したりする可能性が想定されます。

- △ 警告** 本製品を次のような場所には設置できません。
高層階のベランダなど、強風や地震等による転倒・落下が予想される場所。避難口や避難はしご等の使用を妨げる場所。その他使用時において、安全性に欠けると思われる場所。
- 強制** 設置前に必ずご確認ください。
突っ張り棒の受け面(床及び天井)が十分に固くて丈夫なこと。また長期間、強い圧力や強い振動があっても変形しない面であること。(目安は金づちで叩いても変形・破損しない面であること) 突っ張り棒の受け面が水平面に対してプラスマイナス4度以内であること。
- 強制** ご利用中に必ず実施してください。
パラソルを開く時は回転ハンドルをゆっくりと回し、パラソルの骨組が正しい方向に可動していることをご確認ください。
1週間に1度以上の頻度で本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みが無いことをご確認ください。風がある際にはパラソルを畳み、ご使用にならないでください。
強風の際には本体を設置場所から取り外し、屋内に保管してください。
- ⊘ 禁止** 故障の原因になります。
パラソルを開く際、パラソルの骨組が間違った方向に可動している可能性があります。その場合は一度回転ハンドルを逆方法に回してパラソルを閉じ、パラソルの骨組の可動方向に注意しながら再度ゆっくりと開いてください。設置後には、本体を左右方向に回転させないでください。
- ▲ 注意**
本製品のパラソル生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。

部品表

本製品を開封したら、最初に下表の部品及び数量を確認してください。

① 本体(ボルト、ワッシャー、袋ナット付)  × 1	② 天井ポール  × 1	③ 上部ポール  × 1
④ 下部ポール  × 1	⑤ 下部ダイヤルパッド  × 1	⑥ ボルト  × 2
⑦ ワッシャー  × 2	⑧ 袋ナット  × 2	⑨ ホールキャップ  × 24

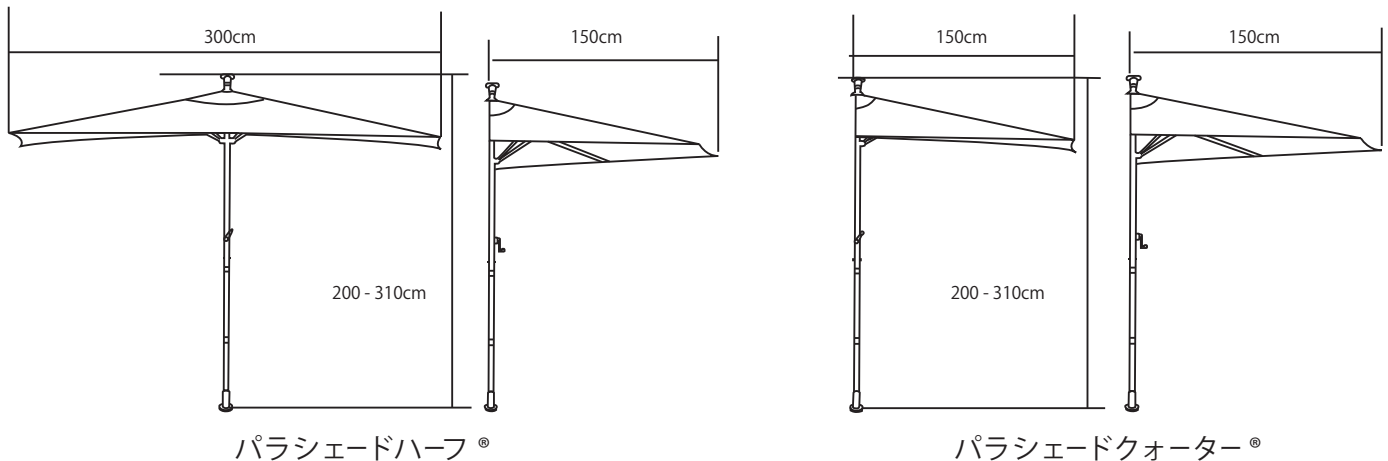
それでは実際に作業を開始しましょう。

以下の手順に従って、安全に作業を開始してください。

1. 設置環境の確認

下記事項を確認し、取付け場所として適しているか否かを確認してください。

- a. 突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面であること。
また長期的に強い圧力が掛かったり、強い振動を与えたりしても変形しない面であること。
(500kg 以上の押さえ圧に耐えられる面。目安は金づちで叩いても変形・破損しない面)
＝突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面でないと、本製品は設置できません。
- b. 突っ張り棒の受け面(天井・床)が水平面から見てプラスマイナス4度以内であること。
- c. 取付け場所の寸法が、本製品の規定範囲内であること。

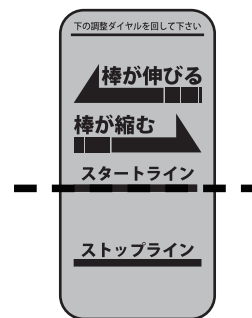
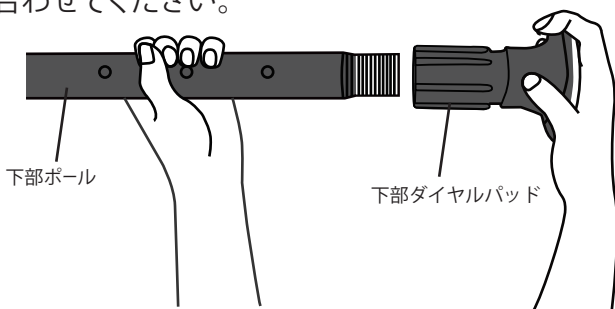


2. 設置

以下手順に従って設置してください。

A. 下部ダイヤルパッドの接続

④下部ポールに⑤下部ダイヤルパッドを回しながら接続し、⑤の上端がシールの"スタートライン"に重なる位置に合わせてください。



B. 設置場所の測定と、必要なポールの接続

1. 設置する場所の床から天井までの長さを測定し、次ページ表1にてその測定した長さに必要な、"本体に接続するポール"(天井ポール・上部ポール・下部ポール)を確認してください。

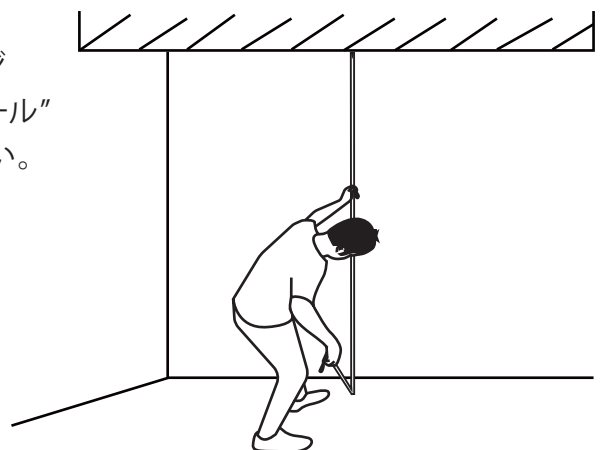


表 1

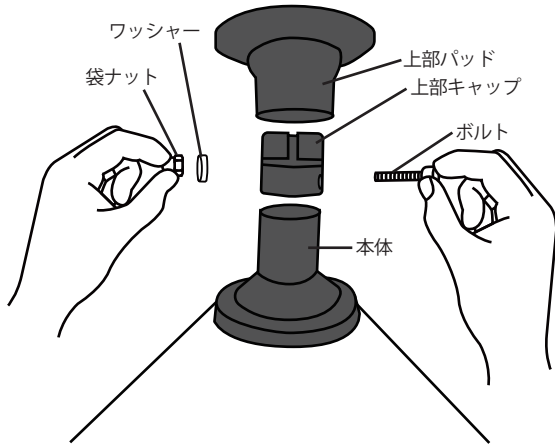
設置場所の床から天井までの高さ (cm)		本体に接続するポール			ボルトを差込む穴の組合せ	
		天井ポール	上部ポール	下部ポール	本体ポールの穴	差込むポールの穴
199 以上	201 未満	不要	不要	●	上から 2 個目	下部ポールの上から 6 個目
201 以上	203 未満				上から 3 個目	
203 以上	205 未満				上から 1 個目	
205 以上	207 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 5 個目
207 以上	209 未満				上から 3 個目	
209 以上	211 未満				上から 1 個目	
211 以上	213 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 4 個目
213 以上	215 未満				上から 3 個目	
215 以上	217 未満				上から 1 個目	
217 以上	219 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 3 個目
219 以上	221 未満				上から 3 個目	
221 以上	223 未満				上から 1 個目	
223 以上	225 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 2 個目
225 以上	227 未満				上から 3 個目	
227 以上	229 未満				上から 1 個目	
229 以上	231 未満	上から 2 個目	下部ポールの上から 1 個目			
231 以上	233 未満	上から 3 個目				
233 以上	235 未満	上から 1 個目				
235 以上	237 未満	不要	●	●	上から 2 個目	上部ポールの上から 5 個目
237 以上	239 未満				上から 3 個目	
239 以上	241 未満				上から 1 個目	
241 以上	243 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 4 個目
243 以上	245 未満				上から 3 個目	
245 以上	247 未満				上から 1 個目	
247 以上	249 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 3 個目
249 以上	251 未満				上から 3 個目	
251 以上	253 未満				上から 1 個目	
253 以上	255 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 2 個目
255 以上	257 未満				上から 3 個目	
257 以上	259 未満				上から 1 個目	
259 以上	261 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 1 個目
261 以上	263 未満				上から 3 個目	
263 以上	265 未満				上から 3 個目	
265 以上	267 未満	上から 1 個目				
267 以上	269 未満	上から 2 個目	下部ポールの上から 3 個目			
269 以上	271 未満	上から 3 個目				
271 以上	273 未満	上から 1 個目				
273 以上	275 未満	●	不要	●	上から 2 個目	下部ポールの上から 2 個目
275 以上	277 未満	上から 3 個目				
277 以上	279 未満	上から 1 個目				
279 以上	281 未満	上から 2 個目	●	●	●	下部ポールの上から 1 個目
281 以上	283 未満	上から 3 個目				
283 以上	285 未満	上から 1 個目				
285 以上	287 未満	●	●	●	上から 2 個目	上部ポールの上から 5 個目
287 以上	289 未満				上から 3 個目	
289 以上	291 未満				上から 1 個目	
291 以上	293 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 4 個目
293 以上	295 未満				上から 3 個目	
295 以上	297 未満				上から 1 個目	
297 以上	299 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 3 個目
299 以上	301 未満				上から 3 個目	
301 以上	303 未満				上から 1 個目	
303 以上	305 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 2 個目
305 以上	307 未満				上から 3 個目	
307 以上	309 未満				上から 1 個目	
309 以上	311 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 1 個目
311 以上	313 未満				上から 3 個目	

2. 天井ポールと上部ポールが必要な場合、以下手順にて接続してください。

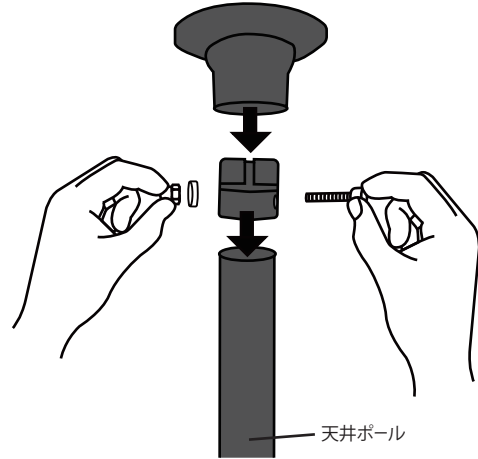
(表1で必要である事を確認した場合のみ)

【天井ポールの接続方法】

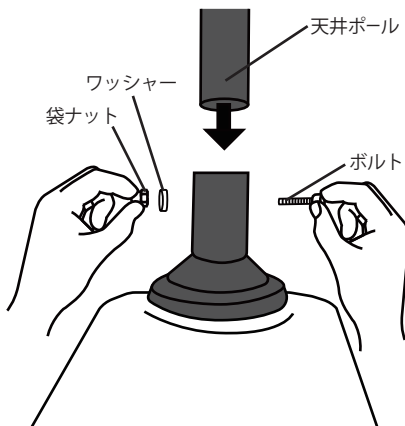
❶. ①本体の上部パッドを強く引いて取り外し、側面のボルト、ワッシャー、袋ナットをレンチで取り外して、上部キャップも取り外します。
(レンチはお客様にてご用意ください)



❷. 先ほど取り外したものを、取り外したのと反対の手順で、②天井ポールの上部に取り付けます。
(ボルト・袋ナットはレンチで締めてください)



❸. ②天井ポールを本体上部に差し込み、付属の⑥ボルト、⑦ワッシャー、⑧袋ナットで固定します。(ボルト・袋ナットはレンチで締めてください)

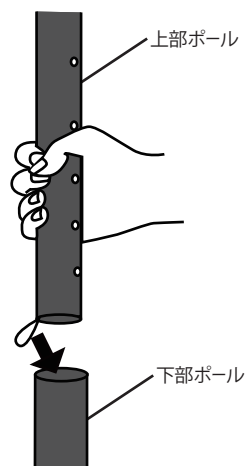


※②天井ポールを①本体に接続した状態。



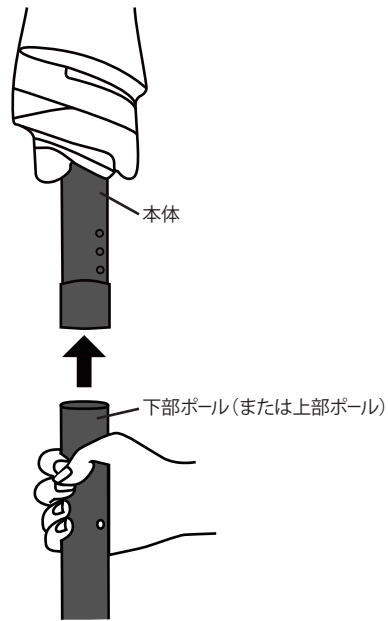
【上部ポールの接続方法】

③上部ポールのフックを④下部ポールに差し込んで、接続します。

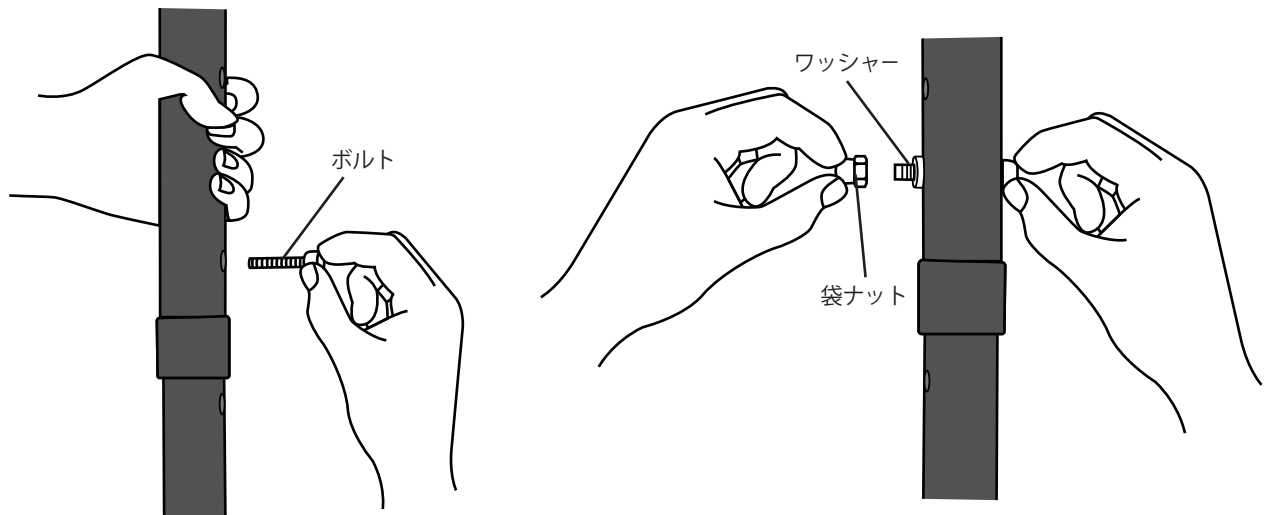


C. 本体と下部ポール(または上部ポール)の接続

1. 本体に下部ポール(上部ポール接続済みの場合は上部ポール)を差し込みます。

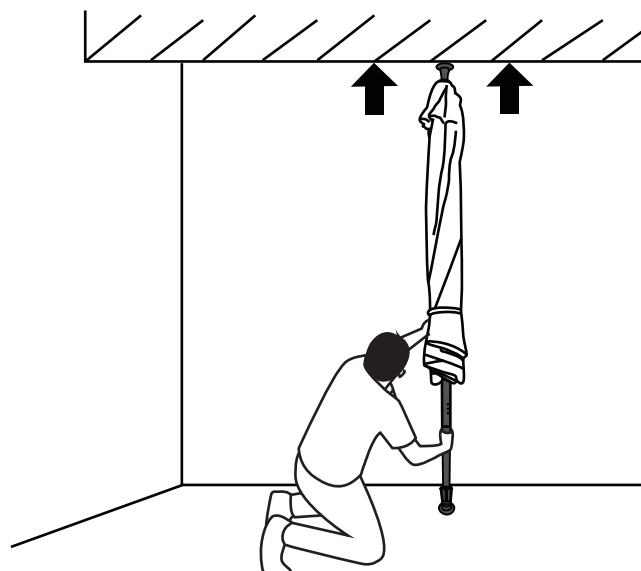


2. 表1より、ボルトを差し込む穴の組合せを確認し、付属の⑥ボルトを差し込み、⑦ワッシャー、⑧袋ナットをセットし、レンチで締め込んでください。

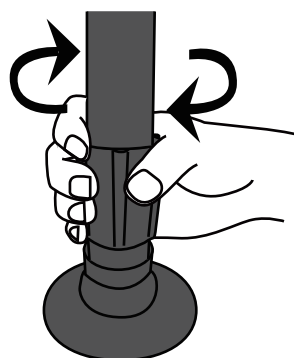


D. 本体の突っ張り固定

1. 本体と各ポールを接続したものを設置場所に立ち上げてください。



2. 本体が垂直状態になっている事に注意しながら、下部ダイヤルを時計回り(添付シール”棒が伸びる”方向)に回して突っ張り固定してください。



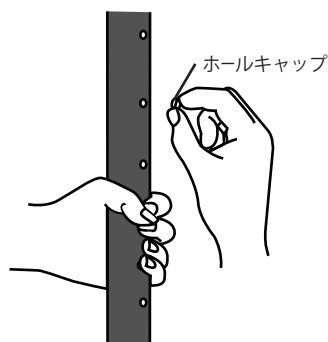
❶ 強制

突っ張り固定したら本体を軽く揺さぶり、しっかり突っ張られている事をご確認ください。またこの確認は設置後も1週間に1度以上の頻度で必ず実施してください。

❶ 突っ張り固定したら少し離れた複数方向から見て、完全に垂直になっている事をご確認ください。

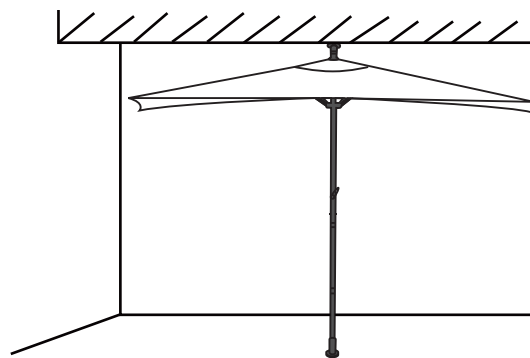
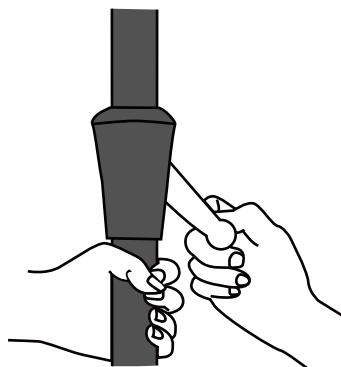
❷ 垂直になっていない場合は下部ダイヤルを時計反対回り(添付シール”棒が縮む”方向)に回し、一旦緩めてから突っ張り直してください。

3. ⑨ホールキャップを取り付けてください。



E. パラソルを開く

開閉ハンドルを時計回りに回し、パラシェードを開きます。



▲パラソルを開く際、親骨が間違った方向に可動し、途中で開閉ハンドルが回らなくなる場合があります。この場合は一旦開閉ハンドルを逆方向に回してパラソルを完全に閉じ、再度親骨が正しい方向に可動している事をご確認しながらゆっくりと開いてください。

3. 設置の最終確認

取付状態の最終点検をしてください。

またこの最終確認で不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。更に設置後も、以下事項の点検を月に1回以上の頻度で必ず実施してください。

- * 本体を少し離れた複数方向から見て、完全に垂直になっている事をご確認ください。
- * ドライバーとレンチを使用し、前項で接続したボルトとナットがしっかり締まっている事をご確認ください。
- * 本体のポール部分を握り、軽く揺らし、しっかりと突っ張っている事をご確認ください。
- * 本体のポール部分を握り、軽く回し、しっかりと突っ張っている事をご確認ください。
- * 開閉ハンドルを時計反対回りに回し、パラシェードを一旦閉じてください。

その後何度か開閉を繰り返し、問題なく日々の開閉動作が出来ることをご確認ください。

これで完成です。

パラシェードハーフ・クォーターで軒先を日差しや雨から守り、快適なスペースとしてご利用ください。

4. 使用上の注意

- ⚠ **注意** 本製品の生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
- ⚠ **注意** 本製品の生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。
- ❗ **強制** 夜間や留守中等、人目から離れる際には、必ずパラソルを閉じ、縫い付けのバンドで固定してください。
- ❗ **強制** 強風、大雨、大雪、その他悪天候の時はご使用にならないでください。
特に台風、豪雨、大雪等の悪天候の際には、事前に本製品を取外し、屋内にて保管してください。
- ❗ **強制** "3. 設置の最終確認"にある各項目の点検を月1回以上実施し、不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。
- 🚫 **禁止** 本製品に寄りかかったり、点検以外の目的で揺さぶったり、物を載せたり、引っ掛けたりしないでください。
- ⚠ **警告** 本製品は家庭の軒先に設置する、突っ張り固定式半円型・1/4円型日よけオーニングです。
本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様による改造等はいらないようお願い致します。

5. お掃除・お手入れについて

- *日常のお手入れは、乾いた布で軽く拭いてください。金属部分の汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を混ぜた水を絞った布で拭き取り、その後すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- *可動部分への潤滑油、金属部分のさび止め剤、生地部分の防水スプレー等の塗布は、必ずそれらの説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことをご確認してから広い面積にご使用ください。

6. その他

本製品は重量があり、雨風等の影響を受ける屋外に設置するため、正しく取り付けでご利用にならないと本製品を破損するだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

設置・ご使用の際にはこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また"3. 設置の最終確認"にある各項目の月1回以上の点検を必ず実施してください。